

第13回  
企画展

# 妖精たちのすむ森から

## コスタリカの生物多様性とその保護

*Spirits, Sprites and Species: The Rain Forest in Costa Rica*



絵：松岡達英

1998年 **7月11日(土)**  
↓  
**9月20日(日)**

### 記念イベント

- 8月2日(日) 記念シンポジウム 「熱帯の森 その素顔と魅力」
- 8月9日(日) コスタリカフェア 「五感で学ぼうコスタリカ」
- 9月6日(日) 記念講座 「コスタリカの自然と保護への取り組み」

■協力 コスタリカ国立博物館・ロサンゼルス郡立自然史博物館

■後援 コスタリカ大使館・コスタリカ政府観光省観光局・茨城県自然博物館友の会

●開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

●休館日 毎週月曜日(但し、7月20日(月)は開館、21日(火)は休館します。)

次回企画展「筑波山のブナはなにを見てきたか」

1998.10.10(土)～11.29(日)

### 入館料

大 人 710円(570円)  
高・大学生 430円(290円)  
小・中学生 140円(70円)

※( )内は20名以上の団体料金です。

※この料金には、常設展・野外施設入場料が含まれています。

※7月11日(土)と9月12日(土)は、小・中学生は入場無料となります。



ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県野井市大崎700番地 TEL.0297-98-2000  
ハローダイヤルしほらき 029-226-8600 #8886(フッシュ路線)  
ホームページアドレス <http://www.nat.pref.aoraki.jp/>  
古紙配合率40%再生紙をしようしています

# 妖精たちのすむ森から

## コスタリカの生物多様性とその保護

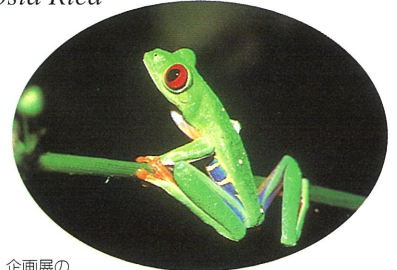
*Spirits, Sprites and Species: The Rain Forest in Costa Rica*



世界で一番美しい鳥といわれているケッツアル  
藤本 和典氏 提供



金属色に輝くモルフォチョウ  
田中誠二氏 提供



企画展のマスコット アカメアマガエル 藤本 和典氏 提供

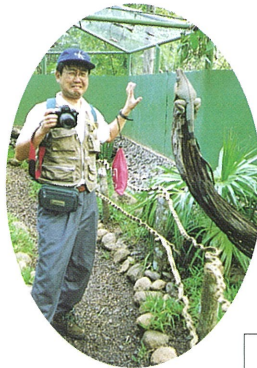


コスタリカの熱帯雨林の相観

中米の花園とも呼ばれるコスタリカ共和国。日本の1/7の面積しかないこの小さな国に、日本の500種を越える850種の鳥類が見られます。特に熱帯雨林では、1本の木に100種以上の植物が着生することもあるというほど多様な生き物たちが見られます。この森では、木の上のわずかな水たまりで育つオタマジャクシや、木を守りながらその中にすむアリなど、生物同志が互いに密接で、多様な関係を保ちながら生活しています。

この生命の宝庫である熱帯雨林が、近年、世界で毎年15万km<sup>2</sup>も消失しているといわれています。コスタリカも例外ではありませんでしたが、国全体で自然保護に取り組み、現在では国土の約27%を国立公園等の保護区とするなど、自然保護の先進国となりました。

今回の企画展は、昆虫や植物の標本約1000点を中心に、熱帯雨林の生物の多様な姿や不思議な生態を紹介します。また、コスタリカの先進的な自然保護への取り組みとともに、熱帯雨林のはたらきや私たちとの関係についてもわかりやすく解説します。世界の自然保護について考え、また、森を守るために一人一人が行動を起こすきっかけにして下さい。



イグアナ牧場：森に放し育て、その肉や革を利用する。



生物多様性研究所：森の価値を知るための標本作り。地元住民が、その技術者として養成されている。

### 展示内容

- A：ようこそコスタリカへ
- B：生命の宝庫・コスタリカの熱帯雨林
- C：森の恵み・人とのかかわり
- D：熱帯雨林を守る
- E：私たちと熱帯雨林

### 主な展示資料

- 熱帯雨林ジオラマ：高木への着生植物を中心とした森の再現、空中ゴンドラ(リアルVR)体験
- コンゴウインコ・ハチドリ・トキイロコンドル等鳥類標本
- ヘラクレスオオカブトムシ・モルフォチョウ・フクロウチョウ・ハキリアリ等昆虫標本、植物さく葉標本、果実標本等 約1000点
- 古代の土器・石器・石球、自然保護教育用教材、イグアナ加工品等



### 交通案内

- 車利用の場合 常盤自動車道谷和原1.Cから20分
- 鉄道・バス利用の場合 JR柏駅で東武野田線乗り換え、東武野田線愛宕駅～茨城急行バス「岩井車庫行き」又は「岩井西高行き」乗車～「自然博物館入口」下車、徒歩10分